

<p>新規就農者の素顔</p>  <p>氏名：恩地 利実（おんち としみつ） 住所：三田市天神 年齢：34歳</p>	<p>農業経営の状況（現在）</p> <p>農地：約1ha（借地約1ha） 施設：ビニールハウス200㎡×5棟 経営内容： 施設きゅうり延べ10a、施設葉物野菜延べ20a、 なす4a、ピーマン4a、オクラ1a、黒大豆枝豆30a、 レタス10a、ブロッコリー30a、ダイコン10a、 その他 労働力：本人、常時雇用（1人、週3日） 出荷先：JA、直売所、市場</p>  <p>トラクターを運転する恩地氏</p>
<p>就農から現在まで</p> <p>平成18年4月 JA兵庫六甲入組 新人職員対象の営農研修を尼崎と神戸 西の農家で受ける</p> <p>平成24年3月 JA兵庫六甲退職</p> <p>平成24年4月～平成25年3月 三田市の農家にて研修（新規就農離陸加 速モデル推進事業）</p> <p>平成25年4月～ 独立就農 現在に至る</p>	<p>就農で良かった点、苦労した点</p> <p>○良かった点</p> <ul style="list-style-type: none"> • 全て自己責任であるため、頑張った分だけ結果が返って きてやりがいを感じる。 • 農業は常に体を動かし、自分で栽培した農作物を食べら れ、自然の中でいきいきと仕事ができる喜びがある。 • 人とのつながりの大切さを実感し、特に家族では共通の 話題が持てるようになり、より絆が深くなった。 • 人・農地プランにおいて集落の担い手として位置付けら れているので、使命感をもって農業に取り組める。 <p>○苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none"> • 毎年、なんらかの失敗をする。 • 農業情勢に不安がある。
<p>農業をめざした動機</p> <p>JA兵庫六甲の営農指導員として勤務する中 で農家の高齢化や耕作放棄地の増加、産地の衰退 等農業の課題に直面した。しかし、農家出身では なかったために、実際の農業を勉強として始め た。次第に栽培技術が向上し、農業をより深く知 るために、心機一転、自ら農業をする道を選んだ。</p>	<p>後輩へ贈る言葉</p> <p>必ず栽培技術と農業経営がしっかりしていれば家族を養う ことができると思う。悩んでいるなら、ぜひ挑戦してほしい。 ただし、基本的なことが備わっていないと、自分がやりたい 農業だけでは生活できない。親方の元での研修や公的な研修 制度を活用し、農業に対して長いプランで着実に取り組んで ほしい。</p>